

宗派の交流続け1世紀

帯広仏教連合会 来月1日に記念式典



式典のパンフレットを手に会の発展を誓う武住職、坂谷会長、瀬尾住職(左から)

帯広市内の11宗派・22寺院が加盟する帯広仏教連合会(坂谷徹念会長)順進寺(住職)が、6月1日午後1時半から帯広市民文化ホール・小ホールで「百年慶讃

法要式典」を開く。坂谷会長は「会のおかげで他宗派と交流でき、視野が広がった。創立100年の重みをかみしめ、次代に伝えていきたい」と話している。

同連合会の前身団体が設立されたのは、1913(14)年ごろ。資料が現存していないため正確な設立年は不明だが、口述で歴史が伝えられてきた。連合会に加盟する善興寺の乙武徳仁住職によると、設立当初の名称は「酒合会」で、酒を酌み交わし、親睦を深めることに主眼が置かれていたという。

月に1度の例会の他、釈迦(しゃか)の生誕を祝う「花まつり」や帯広刑務所での盆法要が主な事業。見識を深めるための研修会を年に1度開き、キリスト教の牧師を講師に招いたこともある。例会では違う宗派同士で教義について意見交換したり、社会問題について語り合ったりしている。

は、異宗派で語り合う機会を設けることによって「独善的になってしまふことを防げる」と強調。坂谷会長も「宗論は、どこが負けても釈迦の恥」という言葉もある。互いの良いところを学び、仏教の発展に結び付けたい」と話す。

記念式典では加盟寺院の住職らが宗派の系統別に3グループに分かれ、順に先人の追弔法要に当たる他、終活カウンセラー協会(東京)の武藤頼胡代表理事、山下弘毅さん(ファイナンシャルプランナー)が人生の終えんを見詰める「終活」について講演する。

式典の入場料は全席自由で1000円。当日券もある。問い合わせは弘真寺(0155・37・5564)、如来寺(0155・24・7633)へ。

日、6月3日に発足させる「食育有識者会議」の委員(11人)を発表した。本州の高校生の農村ホームステイなどを手掛けるノースプロダクション(浦幌町)社

内で唯一選ばれた。同会議は今後の学校での食育の在り方について、中長期的な目標・事業や指導内容などの具体的な推進方法を検討するために設置。



近江正隆氏

学校健康教育課によると、近江氏は、これまで行ってきた大阪を中心とした高校生への農村ホームステイと事後学習での食育プログラムの開発や、大手企業の人

「ラーメンはやし」31日に閉店へ

宅に併設。創
麺し、瑩子キ
麺とスープの